



ニュースリリース

Khronos Group、インターネットにハードウェア・アクセラレート 3D グラフィックスをもたらす「WebGL」イニシアティブを発表

ブラウザ・プラグインなしでリッチ 3D Web グラフィックスを可能とするために、JavaScript を OpenGL ES 2.0 に結合: Google, Mozilla, Opera といった業界大手ブラウザベンダー各社のサポート: 仕様はすべてのデベロッパにロイヤリティ無料で公開予定

2009 年 8 月 5 日(米国時間 8 月 4 日) - 米ニューオーリンズ、SIGGRAPH 2009 - オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 仕様の策定と開発の支援を行う Khronos™ Group (クロノス・グループ、以下: クロノス)は、ブラウザ・プラグインなしで Web ページにハードウェア・アクセラレート 3D グラフィックスを表示可能とする仕様の策定を行う、新イニシアティブ「WebGL」のワーキング・グループの詳細を発表しました。2009 年 3 月に行われた GDC 2009 で発表された WebGL ワーキング・グループには、AMD, Ericsson, Google, Mozilla, NVIDIA, Opera といった業界を代表する企業が参画しています。

WebGL ワーキング・グループは、OpenGL または OpenGL ES をサポートするプラットフォーム上で、ブラウザ内のリッチ 3D グラフィックス表示を可能とするため、JavaScript を OpenGL ES 2.0 に結合する策定作業を行います。ワーキング・グループは、ポータブル性能や安全なシェーダー・プログラムを含む、さまざまなブラウザやプラットフォーム上でのコンテンツ・プログラマビリティを提供するための仕様を開発します。WebGL は、定評のあるクロノスの開発プロセスの元、2010 年上半期に最初のパブリック・リリースを、ロイヤリティ無料で公開する予定です。クロノスは、WebGL の仕様策定作業への参加に関心ある企業のクロノスへの参画を呼びかけています。

WebGL は、HTML 5 の一部として策定された Canvas 要素や、すべての業界大手ブラウザで JavaScript 性能の飛躍的な向上といった、最新の Web テクノロジー開発に活用されます。JavaScript からダイレクトにアクセスできる OpenGL ES 機能によって、ナビゲーション向けのリッチ・ユーザ・インターフェースの使用を含む、3D を強化したさまざまな Web アプリケーションの活用や、エンドユーザにとっては Web が今まで以上に楽しく、生産的でより直感的なものになることが期待されます。

今回の発表について、WebGL ワーキング・グループのチェアである Mozilla の Arun Ranganathan はこうコメントしています。「今までの Web では、多くの 2D グラフィックス・アプリケーションが使われてきましたが、私たちは 3Dこそ Firefox の次のステップに必要なだと考えています。私たちは、Canvas による新しいレベルのリッチ 3D Web アプリケーションの登場や、OpenGL デベロッパと Web デベロッパ同士の相乗効果にも期待しています。」

Google 社エンジニアリング・ディレクタの Matt Papakipos 氏はこうコメントしています。「Google はオープンなスタンダードを支持しており、WebGL イニシアティブに参画することをとてもうれしく思います。私たちは、WebGL がブラウザに求められる高性能 3D の実現に向けて、重要な役割を果たすと信じています。」

Khronos Group 発表ニュースリリースの抄訳

クロノスのプレジデントで NVIDIA 社バイス・プレジデントの Neil Trevett はこうコメントしています。「クロノスに新たに設置された WebGL ワーキング・グループは、ブラウザ及びシリコン・ベンダー各社が共に、Web 3D 向けのローレベルで基礎的な API 策定のために共同作業を行う、特別なフォーラムです。クロノスは、WebGL が Web エコシステム実現の原動力としてふさわしいものとなるように、Web 業界の企業や団体、さらには幅広いコミュニティと共に活動したいと考えています。」

###

Khronos Group について

The Khronos™ Group は、会員企業の会費によって運営されるコンソーシアムで、さまざまなプラットフォームやデバイス上で、ダイナミックなメディア・オーサリング/プレーバックを可能とする、ハードウェア/ソフトウェア製品市場の成長のため、OpenGL®、OpenGL ES™、OpenKODE™、OpenMAX™、OpenVG™、OpenSL ES™、OpenML™、COLLADA™、OpenCL™といった、オープンでロイヤリティ無料の業界標準 API 開発の支援を行っています。会員企業は Khronos API 仕様開発に参画できるほか、一般公開前のさまざまな段階での投票、仕様ドラフトや順応テスト向けのアーリーアクセスを通して、最先端 3D グラフィックス・プラットフォームやアプリケーションの提供を推進可能です。最新情報は Web サイトで公開されています(www.khronos.org)。

Khronos, OpenKODE, OpenVG, OpenMAX and OpenSL ES are trademarks of the Khronos Group Inc. OpenCL is a trademark of Apple Inc. COLLADA is a trademark of Sony Computer Entertainment Inc. used by permission by Khronos. OpenGL and OpenML are registered trademarks and the OpenGL ES logo is a trademark of Silicon Graphics Inc. used by permission by Khronos. All other product names, trademarks, and/or company names are used solely for identification and belong to their respective owners.

メディアの方のお問合せ先

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 0422-47-5319 Email: kasai@miacis.com

ユーザ・読者の方のお問合せ先

クロノス・グループ 日本事務所

Email: khronos@miacis.com www.khronos.org www.khronos.jp